

2019年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

2019年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

1. 狭山丘陵において自然環境及び歴史的景観の保存及び活用のための土地又は文化財を取得する事業

基金の主たる事業であるナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトロの森基金への寄付

2019年度のトトロの森基金への寄付は、455件、6,940,075円が寄せられ、基金の累計は総額952,540,873円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たに次の3か所のトラスト地を取得した。

- ・トトロの森 50号地 1744.04 m² 7,985,300円 2019年4月3日取得
- ・トトロの森 51号地 2,773 m² 7,820,000円 2019年5月30日取得
- ・トトロの森 52号地 1496.17 m² 9,275,200円 2020年3月19日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

- ・所沢市三ヶ島一丁目696ほかの地権者と打合せ(9月9日ほか)
- ・所沢市東狭山ヶ丘五丁目956-1ほかの地権者と打合せ(11月25日ほか)
- ・所沢市北野二丁目22-36の地権者と打合せ(12月2日ほか)

(4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会を1回開催した。

- ・2020年2月20日 所沢市東狭山ヶ丘5丁目他3件の案件及びトラスト地取得方針を検討

2. 取得した土地又は文化財を保存するとともに、その保存に支障のない範囲で一般の活用に供する事業及びその保存・活用のために必要な復元を行う事業

2-1 里山の管理の実践(里山部会事業)

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

4号地、5号地、猪入の森(23号地)、8号地、17号地、葛籠入の森(20・31号地)、29・38号地、43号地、芋窪の森(47号地)において、毎月第一日曜日を主とした月1~2回程度の定例活動日に

「トトロの森で何かし隊」(2020年3月末時点145名)のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、5号地、17号地、芋窪の森(47号地)は協力団体、43号地は地元学校(部活動)と合同で管理作業を行った。雑魚入の森(45号地)、2号地、チカタの森(3・15・48号地)、5号地、北野の谷戸(7・11・16号地)、12号地、砂川の森(14・27・42号地)、17号地、葛籠入の森(20・21号地)、24号地、30号地、37号地、46号地は協力団体(2020年3月末時点16団体)による管理作業が

行われた。活動回数は合計 128 回、参加延べ人数は 1631 人となった。

その他、必要に応じて、チェーンソー等の動力機械を使用するトラスト地管理作業チームによる作業、業務委託による危険木・越境木の除去等を行った。

① 「トトロの森で何かし隊」の活動

- a. トラスト地の管理作業を以下の日程で行い、活動回数 13 回、参加延べ人数 343 人、平均参加人数は、休日定例作業 29.7 人、平日定例作業 15.3 人となった。

日	場所	内容	人数	全数
4月7日	47号地	笹刈り、常緑樹の伐採、ゴミ拾い	19	29
5月5日	4号地	タケノコ掘り	36	37
6月2日	20・31号地	笹刈り、常緑樹の伐採	28	28
6月22日	5号地	草刈り、草抜き	7	9
9月1日	29・38号地	ニセアカシア刈り取り、常緑樹の伐採	22	22
9月19日	4号地	草刈り、栗拾い、コナラの間伐	15	15
10月6日	17号地	草取り、マダケの間伐	19	28
11月4日	43号地	枯れ枝整理、常緑樹の伐採	37	45
12月8日	47号地	笹刈り、常緑樹の伐採、ゴミ拾い	20	33
1月13日	23号地	常緑樹の伐採	24	24
2月2日	47号地	笹刈り、枯れ枝・倒木の片づけ	25	42
2月20日	8号地	常緑樹の伐採	16	16
3月19日	47号地	笹刈り、竹伐り、ゴミ拾い	6	15

※全数は合同作業時の協力団体等の参加人数を含めた人数

- b. ボランティア登録説明会を 4 月 21 日、10 月 20 日の計 2 回開催した。(計 38 人)
c. 5 月 6 日に春の交流会を行った。(42 人)
d. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。
e. トラスト地の案内板の作製および修繕作業を計 5 回おこなった。

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トラスト地の管理作業を以下の通り行い、活動回数 97 回、参加延べ人数 933 人となった。

- a. チカタ集いの会 (3 号地、15 号地、48 号地) 4 月 21 日ほか計 8 回
b. リコーボランティアグループ (5 号地、24 号地) 4 月 27 日ほか計 8 回
c. 北野の谷戸の芽会 (7 号地、11 号地、16 号地) 詳細は 2-2 (1) 参照
d. ゆめとこファーム (24 号地) 4 月 27 日ほか計 3 回
e. 北中ネイチャークラブ (12 号地) 4 月 16 日ほか計 10 回
f. 地域の自然を考える会 (12 号地) 5 月 8 日ほか計 6 回
g. ふらっと 12 (12 号地) 4 月 11 日ほか計 10 回
h. 砂川流域ネットワーク (14 号地、27 号地、42 号地) 7 月 3 日ほか計 6 回
i. 17 号佐々木隊 (17 号地) 4 月 10 日ほか計 5 回
j. 耕し隊 (2 号地) 6 月 2 日ほか計 2 回
k. 30 号地入間隊 (30 号地、46 号地) 4 月 20 日ほか計 6 回
l. 37 号地ネコバス隊 (37 号地、45 号地) 5 月 13 日ほか計 10 回
m. 山田ファーム (20 号地、21 号地) 4 月 24 日ほか計 10 回

n. とよりの緑地を守り隊(47号地)12月8日ほか計3回

③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業

チェーンソー、刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で、毎月3～11回、計80回行った。
雑魚入(1・45号地)、2号地、チカタの森(3・15・48号地)、4号地、5号地、猪入の森(6・23・25・35号地)、北野の谷戸(7・32号地)、8号地、9号地、10号地、12号地、13号地、17号地、18号地、19号地、葛籠入の森(21・26号地)、22号地、24号地、28号地、29号地、30号地、38号地、39号地、芋窪の森(40・47号地)、43号地、44号地、46号地、49号地、50号地

④ 企業ボランティア等の協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行い、活動回数は5回、参加延べ人数90人となった。

日	場所	内容	人数
4月13日	7号地	コーセー労働組合・竹伐り、タケノコ掘り	43
4月20日	47号地	国際ロータリー第2580地区・笹刈り	21
10月5日	20号地	モンデリーズジャパン・笹刈り	9
1月9日	13号地	GFN・落ち葉溜め作り、補修	3
1月11日	13号地	GFN・ところざわ地域の自然・落ち葉はき	14

⑤ 業者委託によるトラスト地の管理作業

a. 危険木・越境木の除去等のため、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
5月11,13日	44号地	隣接地に被害を出す恐れのある枯れ木等の伐採
1月10-20日	49号地	車道および隣接墓地等への越境木の伐採
”	29号地	隣接住宅等に被害を出す恐れのある枯れ木の伐採
”	24号地	隣接墓地および住宅への越境木の伐採
2月17-19日	35・36号地	車道および隣接地への越境木の伐採

b. 2月14日、業者に委託して39号地、43号地に案内板を設置した。

⑥ トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動

良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を計11回行った。

日	場所	内容
5月31日	入間市宮寺の農地	草刈り
6月4日	所沢市堀之内の山林・農地	草刈り
7月31日	所沢市堀之内の農地	草刈り他
8月2日	所沢市堀之内の農地	草刈り
8月7日	北野の谷戸	草刈り
8月20日	北野の谷戸	草刈り
8月27日	北野の谷戸	草刈り
8月28日	北野の谷戸	草刈り・竹伐り
9月20日	入間市宮寺の農地	草刈り
9月25日	所沢市堀之内の農地	草刈り

1月10日 所沢市堀之内の山林

落ち葉掃き他

(2) 講習会

① 救急講習会

5月12日、野外での怪我の事故に備えて、予防法、応急処置法などを学ぶ講習会を開催した。(13人)

② 新メンバー対象研修会

5月12日、新規登録者を対象に、里山管理の基礎を学ぶ講習会を開催した。(7人)

③ 里山管理技術講習会

11月10日、里山管理に必要な基本的な知識と道具の取り扱い方を学ぶ講習会を開催した。(9人)

(3) 収穫祭の実施

11月23日(勤労感謝の日)、トラスト地の管理活動を行うグループおよび丘陵内で循環型農業を行う農業団体と基金関係者の交流を図るため、収穫祭を開催した。(16団体、142名)

(4) 助成金の申請

森林ボランティア育成事業補助金を申請

国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請

(5) 里山部会会議の開催

里山部会会議を9回開催した。

2-2 北野の谷戸保全活動の推進(地域保全活動部会事業)

地域保全活動部会は、2010年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、開墾した畑での畑作、トトロの森7号地、11号地、16号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。去年は北野の谷戸稲作再開10周年記念集会を開催。普段一堂に会すことのない地元の方、ボランティアの方、市役所、トトロのふるさと基金の方が集まり、北野の谷戸について各々がどのようなことを行い、考えているかを座談会の形式で話しあった。なかなか聞けることのない地元の方の貴重な意見を聞き大変参考になり、相互理解を深めるのにとっても良い機会になった。

(1) 里山保全作業等の実施

4月28日(日) 苗代作り 田んぼへの堆肥蒔き 田んぼの荒起こし

5月26日(日) 代掻き、里芋植え付け、7号地竹林整備

6月15日(土) 苗取り

6月16日(日) 田植え、7号地竹林の管理作

7月7日(日) 草刈り

7月15日(日) 水田、畑の草刈り、16号地周辺管理作業

7月28日(日) 草刈り、落花生、ジャガイモ定植

8月12日(日) 田んぼ草刈り、16号地管理作業

9月8日(日) 畑の草刈り、11号地管理作業

9月29日(日) はざかけ作り、11号地管理作業

10月14日(日) 稲刈り

10月16日(火) 倒壊したはざかけの修理

11月10日(日) 11月14日(木) 11月15日(金) 脱穀

- 11月19日（火） 粃摺り、精米
- 11月23日（金・祝） トトロのふるさと基金収穫祭
- 12月16日（日） 水田の畦修復、落ち葉だめの作成・修復
- 1月19日（日） 落ち葉掃き
- 2月16日（日） 稲作再開10周年記念集会
- 2月23日（日） 落ち葉掃き
- 3月15日（日） ジャガイモの植え付け、田んぼ代掻き

(2) 関係機関との連携協議

所沢市みどり自然課と集会の件で打ち合わせ

(3) 部会会議の開催

地域保全活動部会を7回開催した。

(4) その他

北野の谷戸稲作再開10周年記念集会 2月16日

みどりのパートナー育成講座初級編及び中級編の受講

米の収量はいもち病の発生もありで減収 27キロ

2-3 クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

(1) クロスケの家基金

2019年度のクロスケの家基金への寄付は、161件、764,214円であった。

(2) 一般公開

団体見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	18	9	13	6	3	2	10	16	4	6	3	0	90
人数	148	1980	216	114	33	31	150	258	77	122	22	0	3151

※5月 所沢市みどりのふれあいウォークに協力

※2月25日よりコロナウィルス感染防止対策のためクロスケの家の一般公開を中止した。

(3) 文化財保護関連

所沢市文化財保護課による旧和田家衣類調査へ協力した。

「旧和田家の衣生活資料480点」を所沢市に寄贈し、市が指定文化財に指定した。

(4) 蔵の活用

指定文化財「旧和田家の衣生活資料480点」を保管する目的に限り、蔵の2階の一部を所沢市に無償貸与する覚書を交わした。

協力団体活動紹介パネルを掲示

(5) 整備及び管理作業

①敷地内樹木管理

クロスケの家の敷地内樹木管理・越境木の伐採

②母屋の雨漏り修理

3. 狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業及び環境教育事業

3-1 狭山丘陵の保全のための普及啓発活動

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

(1) 会員の状況

2019年度末の登録会員は1,248人で、内訳は正会員898人、高校生2人、家族会員163人、賛助会員28人、子ども会員143人、法人会員14社であった。前年度と比べ2人の増加であった。

(2) 会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第100号発行 6月29日

第101号発行 9月27日

第102号発行 1月24日

第103号発行 3月31日

(3) 狭山丘陵における体験活動の実施(詳細は、2-1 (1) ④参照)

企業や団体の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

コーセー労働組合、モンデリーズ・ジャパン(ハンズオン東京)、オムロン株式会社

(4) ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックを運用し、若年層へのPRに努めた。

(5) 一般への広報活動

- ・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー 4月6日ほか計12回
講師反省会&打ち合わせを実施(6月8日、1月25日の2回)
- ・クロスケの家イベント(どんぐりトトロづくり)4月20日ほか 計3回
- ・トトロの森の散策会
4月27日(東大和市雑木林の会と共催)は雨のため中止
- ・イオン入間店、イオン所沢店でのイエローシートキャンペーンへの参加
- ・イオン入間店パネル展示への参加協力(8月)

(6) トトロの森お散歩マップの増補改訂・増刷

(7) 狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加 1回(8月6日)

SAYAMA HILLS DAY への「どんぐりトトロづくり」ブース出展 11月3日

(8) 東大和市環境市民の集いへの出展 6月2日

※北川かっぱの会の活動視察 9月14日(ガイドツアー講師)

3-2 里山の保全に関する環境教育の実施(環境教育部会事業)

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集のまとめ作業、バリアフリー・プロジェクト関連事業を行った。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

(1) 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2019年度の指定管理業務事業報告書(別紙)

(2) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

- 4月17日 早稲田大学スポーツ科学学術院・実習
- 4月20日 早稲田大学 ICC（異文化交流センター）・見学
- 6月1日 芸術総合高校写真部・撮影
- 6月7日 三ヶ島小学校2年生・生活科学区探検
- 6月19日 所沢市立小手指中学校1年・見学
- 6月21日 三ヶ島小学校2年生・生活科学区探検
- 7月24日 正則高校写真部・撮影
- 11月5日 三ヶ島中学校1年・見学
- 11月16日 早稲田大学 ICC（異文化交流センター）・見学
- 11月19日 芸術総合高校音楽科・見学
- 11月27日 三ヶ島中学校1年・見学
- 12月12日 所沢市美原中学3年・総合的な学習の時間
- 2月1日 サレジオ小学校・糺摺り ※教員のみ

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

(3) 環境教育に関する講座・学習会

年中行事の再現および地域の特産品を使った郷土食づくり（懐かしのおやつ再現）を行った。

- 4月14日 草餅づくり
- 4月24日～ 端午の節句・鎧兜飾り
- 9月14日～ 十五夜飾りの月見団子と焼き団子
- 12月24日～ しめ縄飾りづくり
- 1月11日～ 小正月・繭玉飾りづくり ※バリアフリー・プロジェクトを兼ねる
- 2月15日～ お雛人形飾り

(4) バリアフリー・プロジェクト関連

- 7月7日 ホテル観察会の下見
- 12月22日 繭玉飾りづくり用の手話動画撮影
- 1月11日 小正月・繭玉飾りづくり ※バリアフリー・プロジェクトを兼ねる

(5) 環境教育部会会議の開催

環境教育部会会議を6回開催した。

4. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

4-1 里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

(1) 狭山丘陵の自然環境調査の実施

- ①トラスト地とその周辺の土壌・植生調査を15回行った。
- ②三ヶ島湿地にてトウキョウサンショウウオの卵嚢数調査を1回行った。
- ③北野の谷戸の湧水の有害物質調査を実施した。
早稲田大学自然環境調査室の協力を得て、北野の谷戸の水田へ引き込んでいる湧水の有害物質調査を実施した。その結果、環境基準を上回る汚染がないことを確認した。
サンプル採取日：6月4日
分析機関：早稲田大学環境保全センター
- ④カシノナガキクイムシによるナラ枯れ状況調査をした。調査を2回行った。
- ⑤県民参加モニタリング調査（侵略的外来生物調査）参加団体懇談会への参加（10月16日）

- (2) 管理方針の提言
49、50号地の調査結果をもとに管理方針案をまとめ、理事会へ提案した。
- (3) 調査部会会議の開催
調査部会会議を、2回開催した。
- (4) 調査報告書の発行
調査報告書第15集を発行した。発行日：2019年12月31日

4-2 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

- (1) 関係自治体、企業等との協議
 - ① さいたま緑の森博物館保全活用協議会に出席（6月15日、2月15日）
保全作業への参加（11月30日）
 - ② 菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議への出席
（5月27日、10月18日、1月17日）
管理作業への参加（6月21日、6月22日、7月6日、11月16日）
 - ③ 所沢市みどりの審議会に委員として出席（5月27日、7月29日、9月27日、2月17日）
 - ④ 狭山3公園管理運営協議会への出席（7月20日）
- (2) 葛籠入湿地及び水源地に対する取り組み
 - ① 葛籠入湿地及び水源地の保全計画案の作成
 - ② 葛籠入湿地蛍観察会（7月13日）
 - ③ 水源地でのアカマツ再生の取り組み
アカマツ苗の育成・アカマツ育成先進事業の視察（1月24日、3月17日）
- (3) 早稲田大学オリンピック招致に伴う陸上競技場照明問題に対する取り組み
 - ① 早稲田大学・埼玉県生態系保護協会との3者協議打ち合わせ（6月18日）
 - ② 2020年東京オリンピック・パラリンピックに関連する早稲田大学所沢校地における陸上競技場照明施設に関する確認書の取り交し（7月16日）
 - ③ 早稲田大学所沢校地陸上競技場照明施設環境影響評価業務における調査の協力
（協力回数：43回）

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

トトロのふるさと基金運動の四半世紀に及ぶ活動記録を集大成した刊行物（トトロのふるさと基金発足30周年記念誌）の取りまとめの準備を行った。また、トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想（2020～2030年）の検討を行った。ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。

その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行った。

- (1) 理事会及び評議員会の開催
 - 理事会：通常理事会2回（5月26日、3月15日）
臨時理事会2回（6月16日、11月3日）

決議の省略1回(9月17日)

評議員会：定時評議員会1回(6月16日)

(2) 執行部会議の開催(10回)

4月9日、5月6日、6月14日、8月24日、9月12日、11月22日、12月5日、12月12日、3月10日、3月21日

(3) 常任理事会の開催(11回)

4月23日、6月24日、7月27日、8月24日、9月25日、10月29日、11月27日、12月25日、1月28日、2月25日、3月23日

(4) トトロのふるさと基金長期構想(2020~2030年)の検討

トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想検討ワーキンググループを立ち上げ、検討会(WG)及びアドバイザーボード(AB)の意見聴取等を5回開催した

6月9日(AB/WG)、7月14日(視察)、10月14日(WG)、11月3日(WG)、1月26日(WG)

(5) トトロのふるさと基金発足30周年記念誌発行準備

トトロのふるさと基金の運動の四半世紀に及ぶ活動記録を集大成した刊行物の取りまとめの準備を行った

① 合同出版株式会社との記念誌出版の打ち合わせ

② 基金関係者等への執筆依頼・校正

(6) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演

4月 学芸大学、台湾・静宜大学

7月 新所沢ロータリークラブ

10月 所沢市語り部講座

11月 自由学園最高学部

1月 ところざわ地域の自然グループ カタクリ群落の下刈と落葉掃き
所沢中央ロータリークラブ

② 取材等への対応

4月(るるぶ埼玉、公益法人協会)、5月(全国各種団体名鑑、公益法人協会)、7月(月刊「社会教育」)、10月((株)童夢「図鑑 日本地理」)、11月(東京ボランティア・市民活動センター、早稲田大学教育学部卒論)、2月(毎日新聞)、3月(るるぶ埼玉、NHKBS「歩く人」、NPO法人木づかい子育てネットワーク、合同会社ハチコク社「狭山丘陵はっけんノート」、所沢市多言語情報サイト「Guidoor」)

教材等への写真等の提供

合同会社ミカブックス「小学校社会科資料集5年」、サイバーネットコミュニケーションズ(株)「小学校社会科資料集 全国版 5年」、株式会社日本入試センター「社会4年デイリーサピックス」・「サピックス eco クラブ 5年」

③ 丘陵案内

4月(台湾・静宜大学)、11月(自由学園最高学部)、1月(ところざわ地域の自然グループ)、ほか。

(7) 収益事業の実施

トトロファンダグッズ等の企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

① 収益事業検討会の開催(6回)

- ② スタジオジブリ商品企画部との打ち合わせ 4月24日ほか3回
- ③ ジブリ美術館との商談 4月1日ほか2回
- ④ イベント等でのグッズ販売、外部委託販売
 - 5月 所沢市みどりのふれあいウォーク（クロスケの家にてグッズ販売）
 - 6月 東大和市環境市民の集い
 - 11月 山口公民館まつり
 - 11月 中新井の環境を考える会
 - ※夏期・冬期 所沢市職員向け販売
- ⑤ 2019年度新商品
 - ダイカットステッカー（そら色セット、さくらんぼ色セット、みかん色セット）、
 - パーカー（ふろしきトトロ）紺・グレー
 - レッスンバッグ（仲良くおでかけ）
 - メモ&ふせんセット
- ⑥ オンラインショップ TOTORO FUND SHOP の更新・運用を行った。

以上

2019 年度
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理者 公益財団法人 トトロのふるさと基金

(様式1)

2019年度事業報告書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、専門家を招いた地質やコケ、シダ植物の観察会や、里山の生き物をテーマに所沢市役所のロビーや飯能市などで展示を行った。情報発信に関しては、チラシやポスターの充実、フェイスブックなどを活用し、魅力ある情報の提供に努めた。また、センターエリアや各管理地では、ボランティアの協力を得て、園路や林内整備に取り組んだ。県民の自然ふれあいの場として、来園者が安全で快適に過ごせるよう随時管理地を巡回し、事故の未然防止に努めた。

なお、2019年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

表1 2019年度の新たな取り組み、充実点について

取り組み	実施内容
イベント関連	・狭山丘陵自然観察会（充実） ・ゴールデンウィーク10連休 ミニクラフト教室やガイドウォーク（新規）
展示関係	・『地域共生展示』大学や博物館などの協力を頂き展示を実施（新規） ・『所沢市環境ギャラリー』所沢市役所ロビーにて狭山丘陵展を実施（新規）
連携事業	・飯能市より依頼を受けサマーフェスタにて講演会と工作教室を実施（新規） ・所沢市より依頼を受けてこども環境サミットにて基調講演を実施（新規）
管理作業	・埼玉大学工学部との連携授業にて提案された、蝶たちの森（スポット5）の改善案を埼玉県みどり自然課と行うため、地権者や関係機関への説明や管理計画の策定、下草刈りや樹木調査を行った。（新規）

(1) 自然観察会等の実施

表1 イベント実施状況

イベント名	内 容	参加人数	回数
【重点】 狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵の自然への理解を深めるために、一部、専門家を招いて観察会を行った。	132	8
【継続】 地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や公民館と、展示やイベントを共催して行った。	157	6
【継続】 里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の文化・習俗を体験する講座を行った。	130	7
【継続】 ひよこ探検隊	未就学児童と保護者を対象にした入門的な観察会を行った。	55	3
【継続】 狭山丘陵出前センター	文化祭やお祭などに出張して狭山丘陵に関する展示を行った。	3,067	11
【継続】 いきふれボランティア募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を実施。	16	3
【継続】 基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に再現することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	111	12
【継続】 植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座の中級編講座を行った。	184	12
【継続】 ガイドウォーク	申込なしで当日参加出来る観察会を行った。	276	25
【継続】ゴールデンウィーク スライドショー・ミニクラフト	狭山丘陵の地理や見どころを映像で紹介	240	10
【継続】 環境教育活動の支援	教育機関からの依頼に応じ、環境教育活動への協力や支援を行った。	3,487	40
【継続】 企業や行政との連携イベント	企業からの依頼に応じ、イベントを行った。	4,600	4
【継続】 狭山丘陵ミニトーク	団対来訪者からの依頼に応じ、パワーポイントや動画を使って解説を行った。	94	1
【継続】 狭山丘陵出前講座	団体からの依頼に応じ、随時講座を行った	196	5

※延べ：147回 12,745名 天候不順や新型コロナウイルス対策のため計5回中止

①自然観察会等のイベント実施

今年度は、狭山丘陵の自然に親しみより理解を深めるため、狭山丘陵自然観察会では、専門家を招いての地質やコケ、シダ植物などを実施した。

また、定例のイベントとして『里山体験講座』や『ひよこ探検隊』、『狭山丘陵出前センター』、『地域公共施設との連携イベント』、『基礎から学ぶ植物画講座』、『植物画講座中級編』、『ガイドウォーク』、『環境教育活動の支援』、『狭山丘陵出前講座』、『企業との連携イベント』、『狭山丘陵ミニトーク』などを実施した。

イベント実施状況は表 1 に、主な狭山丘陵自然観察会は表 2 のとおりであり、詳細を資料(様式 5)にまとめた。

表 2 主な狭山丘陵自然観察会 実施状況

イベント名	実施日	参加者	実施内容
シダ観察入門	6/23	24	入間市博物館より講師を招き実施。
狭山丘陵の成り立ちと地質	10/14	15	県立所沢高校から講師を招き実施。
コケ観察入門	2/9	25	日本蘚苔類学会所属の講師を招いて実施。

②団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小中学校や高校、大学へはプログラムの提供や職員の派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表 3 のとおりであり、詳細を資料(様式 5)にまとめた。

表 3 団体利用対応受入状況

区分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高校 大学等	一般	合計
利用回数	43 回	34 回	7 回	95 回	179 回
利用者数	977 名	3,431 名	138 名	4,798 名	9,344 名

③インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を有する人材を育成するためインターン生を受け入れた。活動内容として、イベントの補助や館内解説、展示物作成、Facebook を使った情報発信などを行った。(表 4)

表 4 インターン生受け入れ実施状況

学校名	受け入れ期間	人数
埼玉大学教育学部	6/13～12/7	1 名
大宮国際動物専門学校	10/13～10/31	1 名

(2) 展示、解説について

①展示について

早稲田大学自然環境調査室や所沢市生涯学習センター、荒幡富士保存会、トロのふるさと基金などに協力を頂き『地域共催展示』を実施した。また、『シダ植物展』や『植物原画』、『映像装置をつかった展示』などの展示を行った。地域公共施設との連携では、所沢市役所や所沢図書館とも展示を行った。詳細を参考資料 2 にまとめた。

②館内解説の充実

常に来館者との円滑なコミュニケーションを心がけ、来館者それぞれのニーズに合った自然情報の説明や地図の提供等を行った。詳細を表 5 にまとめた。

表 5 利用者への情報提供人数

内 容	人 数
自然情報、イベント案内、周辺案内、自然一般の相談など	3,087 人

(3) 広報活動

①情報提供

彩の国だよりや市報、雑誌やミニコミ誌等にイベントや自然情報の提供を行った。また、FM 茶笛 (コミュニティーFM) に、毎月出演し情報発信に努めた。

マスコミへの出演や取材協力、掲載実績等の各実施は以下の表のとおりである。

表 6-1 マスコミへの出演、取材協力

種別	番組名	回数	内 容
ラジオ	FM 茶笛 (77.7MHz) とれたてラジオ 花と緑の時間	12 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
テレビ	J:COM テレビ 所沢ニュース	7 回	『春色アルペンロード』、『お茶摘みとお茶づくりに挑戦!』、『ゆでまんじゅうを作ろう』、『夏の森で遊ぼう!』、『月見だんごと十五夜』、『作ろう! 小正月にまゆ玉飾り』、『クワオルト』

※延べ 出演回数:19 回

表 6-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊 子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	12 回
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	6 回
埼玉暮らしのガイド 2020	埼玉県	雑誌	埼玉新聞	1 回
まいなび	埼玉県	新聞	中日新聞	1 回
るるぶ埼玉	全国	雑誌	JTB パブリッシング	1 回
るるぶ埼玉 川越 秩父 鉄道博	全国	雑誌	JTB パブリッシング	1 回

※延べ 掲載回数:34 回

表 6-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内 容
西埼玉ぱど	12 回	イベント募集のお知らせ
J:COM TV 所沢	10 回	イベントの紹介

※延べ 22 回

表 6-4 イベントポスター・チラシの作成実績

ポスター・チラシ	数量	内 容
夏休みイベントチラシ	1,000 枚	地域公民館や図書館と連携し、夏休みイベントをまとめたイベントチラシを作成。
イベント告知ポスター	28 枚	イベントやボランティア募集などを周知するため、センター壁面に貼りだした。
年間観察会チラシ	3,000 枚	自然観察会を周知するために、県内外に広く配布。
いきもの写真展チラシ	1,000 枚	写真展募集と展示を告知するポスターを作成。周辺施設へ配布した。

②広報紙等の発行と配布

カラー版「いきふれ通信」を年4回計14,000部発行し、所沢市内全ての小学校と図書館、埼玉県内の博物館や資料館、首都圏の関連自然施設等90箇所に配布した。

③センターホームページの運営

イベントの予定や実施状況などを知っていただくため、ホームページや Facebook の運営を行った。また、システムの脆弱性の対応や安全性の確保のため、基本ソフトの定期更新や管理などに努めた。ホームページの更新回数は表 7、閲覧状況は表 8 のとおりである。

表 7 ホームページ更新

内 容	更新回数
自然情報、Facebook、イベント予定・報告、園路情報、通信、ボランティア活動報告など	178 回

表 8 ホームページへの閲覧状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 間 閲 覧 数	2,329	3,011	2,859	2,424	2,581	2,258	1,912	1,905	1,594	2,010	2,073	2,194

※累計 27,150 回

(4) 関係団体との協働

① 埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティアの募集説明会や養成講座を開催し、登録者は23名となった。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通して定期的な巡回・環境整備や自然情報の収集に協力頂いた。活動状況は表9のとおりであり、詳細を参考資料3にまとめた。

表9 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	12回	24名	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事補助	12回	28名	GWミニクラフト教室、自然観察会など
里山管理作業	4回	33名	SP5草刈や泥だし、落ち葉掃きなど
研修会	1回	6名	小石川植物園にて実施。

※(全体会議、その他)9回 55名 延べ活動数:38回 延べ人数:146名

② 「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

- ・堅香子の会より、植物画講座への講師派遣や植物画の原画借用協力を頂いた。
- ・ふれ炭会に炭焼き体験に関する学生団体の受け入れや管理地の維持管理協力、間伐材の有効利用などに協力頂いた。

③ 地域の企業や市町村、自然ふれあい施設等との連携

埼玉県立所沢高等学校や入間市博物館へ講師派遣の依頼を行った。また、所沢市や飯能市、西武鉄道株式会社から依頼を受け、イベントに協力した。

狭山丘陵観光連携事業推進協議会より依頼を受け、構成委員として参加した。埼玉大学工学部環境共生学科とは、スポット4をフィールドとする演習に協力した。『狭山丘陵いきもの写真展』開催に際し、さいたま緑の森博物館や都立公園に協力をもとめた。さらに、狭山丘陵フェア実行委員会に参加し、都立公園とのイベントの実施を行った。

主な地元企業や市町村、自然ふれあい施設との連携は表10のとおりである。

表10 主な地元企業や市町村、自然ふれあい施設との連携

団体名	イベント名	実施日	参加者	内容
西武鉄道株式会社	所沢エンジョイハイキング	5/15	1,471名	パネル展示を行い、自然情報と解説を実施。
		11/14	1,198名	
所沢市	所沢市 みどりのふれあいウォーク	5/18	1,855名	ブース展示を行い、自然情報と解説を実施。
	所沢市環境ギャラリー	5/14~ 5/21	191名	所沢市役所ロビーにて展示し解説を実施。
飯能市	みんな活サマーフェスタ	8/4	1,306名	飯能市市民センターにて講演会と工作教室を実施。

(5) 運営協議会の開催

センターの円滑な管理運営を推進し、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を11月に開催した。新型コロナウイルス拡大防止のため、2月は中止とした。

- ・協議会委員 学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等 計9名
- ・協議事項 事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

(6) 施設の維持管理

①保守点検業務

施設の維持管理(夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃)については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。その他、節電への対応として、サーキュレーターを導入や間引き照明や冷暖房機の設定温度の見直しなどを実施した。

②地震や火災などの対策

緊急時の対応マニュアルをもとに、消防署の協力を得て、通報訓練や消火訓練、AED訓練、避難訓練などを行った。

③園地管理

日常的に管理地内を巡回し、定期的な草刈りや植栽木の剪定、樹木の伐採(緊急性の高い危険木)、木柵の交換、階段の修繕、スポット5の管理作業などを行った。

特に、スポット5の管理は、埼玉大学工学部との連携授業にて改善提案を受け、埼玉県と管理を行うため、下草刈りや樹木調査を行った。主な実績は表11のとおりである。

表11 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	杭と横木(木柵)	140本	破損柵を交換。
	施設案内看板	1基	案内看板を設置。
スポット5	管理作業	24回	管理計画や地権者への説明、下草刈りと樹木調査を実施。
スポット4	啓蒙看板	3基	出入口に設置予定。
スポット2	階段の修繕	16段	破損階段を交換。
スポット1、3、5	盤面作り	3枚	埼玉県からの依頼を受け、解説看板の盤面を作成。

(7) 災害時等の緊急時の対応

大型の台風接近の際は、施設玄関付近への土嚢の設置や園路上空の掛かり枝の除去などを実施した。また、緊急対応に備え、連絡網の確認やチェーンソーなどの備品の用意を行った。台風通過後は、速やかに施設と管理地を巡回し園路通行の安全確保と情報の収集に努めた。倒木などの情報は、ホームページを通じて周知を図った。

(8) その他の自主事業

① 頒布物について

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、「狭山丘陵いきものふれあいの里の植物図鑑」増刷や「植物画ハガキ」、「植物画一筆箋」、「シダ植物ポケット図鑑」、「野鳥ハンドブック」の頒布などを行った。

② 萌芽更新地の調査

身近なみどり保全創出事業にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区の植生調査を8回行い、121種(草本49種、木本72種)を記録した。結果を管理作業の参考にするために、所沢市みどり自然課へ報告を行った。

大きな傾向として、樹の成長に伴い、林床に入り込める草本も少なくなり樹林地として形成し始めている。

2 施設の利用状況

① 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	8,636	13,389	22,025	2,377	5,656	8,033	30,058

② 施設有料利用状況(利用施設区分別)

区分	講義室	展示室
利用件数	7件	0件
利用者数	229人	0人